

**科目名 社会福祉基礎**

**单元名 (3) 社会福祉思想の流れと福祉社会への展望**

**(4) 生活を支える社会福祉制度**

**指導項目 ウ 地域福祉の進展**

**オ 障害者福祉と障害者総合支援制度**

**1 単元の目標**

- (1)社会福祉思想の歴史的変遷と関連性、地域福祉、生活を支える社会保障制度の概要と現状について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (2)社会福祉思想の歴史的変遷や地域福祉の現状、社会を支える社会保障制度の現状に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。
- (3)諸外国や日本の社会福祉思想や歴史的経過を踏まえ、地域共生社会を目指して自ら学ぶとともに、社会保障制度を地域や生活と関連させて自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。

**2 単元の評価規準**

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会福祉思想の歴史的変遷と関連性、地域福祉、生活を支える社会保障制度の概要と現状について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉思想の歴史的変遷や地域福祉の現状、社会を支える社会保障制度の現状に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	諸外国や日本の社会福祉思想や歴史的経過を踏まえ、地域共生社会を目指して自ら学ぶとともに、社会保障制度を地域や生活と関連させて自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

**3 指導と評価の計画 (障害の表記は、使用教科書 社会福祉基礎基 (実教出版) に準拠して記載)**

第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度

第3章 障害者福祉と障害者総合支援制度・・・19時間

- (1) 障害者福祉とは・・・(1時間)
- (2) 障害の社会モデルとICF・・・(1時間)
- (3) 障害者の現状と生活のしづらさ・・・(1時間)
- (4) 障害福祉の理念・・・(2時間) 本時 (2/2)
- (5) 障害者を支える法制度・・・(2時間)
- (6) 身体障害者の現状と支援・・・(2時間)
- (7) 知的障害者の現状と支援・・・(2時間)
- (8) 精神障害者の現状と支援・・・(2時間)
- (9) 発達障害者の現状と支援・・・(2時間)
- (10) 障害者総合支援法の現状と課題・・・(1時間)
- (11) 障害者福祉の今後のあり方・・・(3時間)

時間	【ねらい】・学習活動	評価		備考（評価規準・評価方法）
		観 点	記 録	
1	<b>【ねらい】障害者基本法における障害者の定義について理解し、障害を社会全体の問題としてとらえ何をすべきかを考える。</b>			
	①障害者基本法が示す障害者の定義について理解する。	知	○	・障害の定義について理解している。 <b>（定期考査）</b>
	②障害者基本法に示されている「相当な制限」とは何かを考える。	思		
2	③障害者が直面する困難について、社会全体のこととしてとらえ、私たちが何をすべきかを考える。	思	○	・障害者が直面する困難について、社会全体のこととしてとらえ、私たちが何をすべきかをまとめている。 <b>（ワークシート）</b>
	<b>【ねらい】障害者の生活に社会的障壁が影響していること(ICFの考え方)を理解する。</b>			
3	①ICIDHに基づいたモデルは障害の原因が単純化していることを理解する。	知	○	・ICIDH、ICF(①②)の特徴について理解している。 <b>（定期考査）</b>
	②社会環境が生活のしづらさを悪化させたり軽減したりする社会モデル、ICFの考え方を理解する。	知	○	
4 ・ 5 本	<b>【ねらい】日本の障害者数の実態について理解する。事例(地域生活困難事例)やデータをとらえて、障害者の生活のしづらさについて考える。</b>			
	①日本の障害者数の概数を把握する。	知	○	・日本における障害者の概数について理解している。 <b>（定期考査）</b>
	②障害者の生活のしづらさから必要な支援を考える。	思	○	・生活のしづらさについてデータを読み取り、必要な支援を考え、まとめている。 <b>（ワークシート・定期考査）</b>
	①生徒が暮らしている中で行っている生	思		

時	活行為やこれまで経験してきた行事などから、自分にとっての「「ふつうの生活」」について考える。			
	②資料を読み、障害者の「「ふつうの生活」」の実現に向けた支援について理解し、まとめる。	知		
	③障害者が「「ふつうの生活」」を実現するために必要な要素について考え、発表する。	思	○	・障害者が「「ふつうの生活」」を実現するために必要な要素について考えている。 (ワークシート)
	④ノーマライゼーションが共生社会を実現していく上で、重要な要素の一つであることを考える。	思	○	・ノーマライゼーションが共生社会を実現していく上で、重要な要素の一つであることをまとめている。 (ワークシート)
<b>【ねらい】障害者福祉関連法の時代背景に触れ、基本的な内容について理解する。</b>				
6 ・ 7	①障害者基本法の主な特徴について理解する。	知	○	・障害者の定義、地域社会における共生、障害者差別の禁止等の重要な理念が明記されていることを理解している。 (定期考査)
	②ICT 機器を活用して、住んでいる市町村の障害福祉計画を各自で調べる。	知		
	③戦後の障害者福祉（児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法）の時代背景を考え、まとめている。	思	○	・戦後の障害者福祉（児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法）の時代背景をまとめている。 (ワークシート)
	④障害者の雇用に関する法制度を理解する。	知	○	・障害者雇用促進法、障害者の所得保障について理解している (定期考査)
	⑤障害者福祉関連法が障害者基本法に挙げられた共生社会の理念につながりがあることを確認する。	知		
<b>【ねらい】身体障害者の定義と必要な支援について理解し、ニーズに基づいた支援方法について考える。</b>				
8 ・ 9	①身体障害者の定義と各種の福祉サービスの利用条件についてまとめ、理解する。	知	○	・5つの障害種別、身体障害者手帳交付などの福祉サービスの利用手続きを理解している。 (定期考査)

	<p>②事例（コラム）より、身体障害者が、必要としている支援について理解し、支援のあり方について考え、共有し意見交換をする。</p> <p>③身体障害者の生活ニーズとそれを支える制度（移動とコミュニケーションの支援）と心理的な支援（障害の受容）について理解する。</p> <p>④ICT 機器を活用して、社会環境の整備の例について調べ共有する。（スタディ5 参照）。</p>	<p>思</p> <p>知</p> <p>思</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>・ 本人が自立生活を望んでいることを最大限尊重した支援について検討し記述している。（ワークシート）</p> <p>・ 障害者総合支援法のホームヘルパー、補装具の支援と心理的な支援について理解している。（定期考査）</p>
<p>10</p> <p>・</p> <p>11</p>	<p><b>【ねらい】知的障害者の定義と必要な支援について理解し、ニーズに基づいた支援方法について考える。</b></p> <p>①知的障害者の定義と知的障害の判定から療育手帳発行までの流れについてまとめ、理解する。</p> <p>②ICT 機器や DVD 教材を活用して、知的障害者の生活の実態（在宅・施設）を知り、支援の方法を話し合う。 例）映画「I am Sam」（知的障害への理解と社会環境への働きかけ）</p> <p>③ノーマライゼーションの始まりにふれ、知的障害者の脱施設化について考える。 （施設による「親亡きあと」の保証と重度障害者の地域生活の理念を抑える）</p> <p>④事例（コラム）を読んで、知的障害者が必要としている支援について理解し、支援のあり方について考え、共有し意見交換する。</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>思</p> <p>思</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>・ 知的障害者の定義が十分に明確にされていないこと、療育手帳の発行までの流れを理解している。（定期考査）</p> <p>・ 入所施設か否かの問題ではなく、本人、両親、支援者の思いを想像しながら、本人が自立生活を望んでいることを最大限尊重した支援について検討し、まとめている。（ワークシート）</p>

<p><b>【ねらい】精神障害者の定義と必要な支援について理解し、ニーズに基づいた支援方法について考える。</b></p>				
<p>1 2 ・ 1 3</p>	<p>①精神障害者の定義と精神障害者が医療と福祉の両側面からの支援が必要であることについてまとめ、理解する。</p>	知	○	<p>・障害者基本法の成立により福祉の対象となったこと、障害の定義・種別、精神障害者保健福祉手帳交付等により福祉サービスの利用手続きを理解している。 <b>(定期考査)</b></p>
	<p>②精神医療の歴史について教科書で確認し、事例から人権侵害の原因と解決策について考える。 例) 私宅監護の歴史や精神障害者に対する人権侵害の記事</p>	思	○	<p>・精神障害者に対する偏見や差別の歴史や人権侵害の事例から原因と解決策について考え、記述している。 <b>(ワークシート)</b></p>
	<p>③退院支援の事例(コラム)を読んで感想を共有し、グループワークをもとに精神障害者の支援方法を考える。</p>	思	○	<p>・グループワークをもとに、精神保健福祉士が支援にどのように介入しているのか、精神障害者の支援方法について考え、記述している。 <b>(ワークシート)</b></p>
	<p>④統合失調症を例に、精神保健福祉士等による精神障害者の段階的な生活に必要な支援について理解する。</p>	知		
<p><b>【ねらい】発達障害者の定義と必要な支援について理解し、ニーズに基づいた支援方法について考える。</b></p>				
<p>1 4 ・ 1 5</p>	<p>①発達障害者の定義や分類と特性についてまとめ、理解する。</p>	知	○	<p>・発達障害者の定義や分類と特性について理解している。 <b>(定期考査)</b></p>
	<p>②事例(コラム)を読んで、感想を共有し、グループワークをもとに発達障害者への支援方法を考える。</p>	思	○	<p>・発達障害者の生活に必要な支援(コミュニケーションのトレーニング、周囲への理解の促し)について考え、記述している。 <b>(ワークシート)</b></p>
	<p>③発達障害者が、福祉サービスを利用する場合、精神障害者保健福祉手帳を申請することを理解する。</p>	知		
<p><b>【ねらい】障害者総合支援法による福祉サービスの種類や手続きなどについて理解する。</b></p>				
<p>1 6</p>	<p>①障害者総合支援法の事業体系と具体的なサービスについて、教科書の内容をまとめ、理解する。</p>	知	○	<p>・障害者総合支援法の事業体系とそのサービス内容について、理解している。 <b>(定期考査)</b></p>

	<p>②サービス支給決定までの流れを教科書の内容をまとめ、理解する。</p> <p>③障害者総合支援法の今後の課題である、その人らしい地域生活の質について確認する。</p>	知	○	<p>・サービス支給決定までの流れを理解している。 <b>(定期考査)</b></p>
	<p><b>【ねらい】障害者福祉の最近の動向を踏まえ、共生社会のあり方について考える。</b></p>			
17	①国連が障害者権利条約採択した後の日本の法整備を時系列でまとめ、理解する。	知	○	<p>・障害者権利条約採択後の日本の法の整備の動きについて理解している。 <b>(定期考査)</b></p>
18	②近年の人権擁護の強化の動向と合理的配慮の定義について理解する。	知	○	<p>・各種虐待防止法の定義・障害者差別解消法の合理的配慮の法的義務等を理解している。 <b>(定期考査)</b></p>
19	<p>③資料2を読み、事例に対する合理的配慮を方法を考える。 (例) 内閣府 障害者差別解決法～合理的配慮の提案等事例集～</p>	思		<p>・合理的配慮の事例から、課題解決方法を考え、記述している。 <b>(ワークシート)</b></p>
	④共生社会を目指していくために必要な事柄についてまとめ、理解している。	知		
	⑤障害者福祉分野における、共生社会の実現に向けたレポートを作成する。 (キーワード) 障害の理解、社会的障壁の除去、合理的配慮	思主	○	<p>・障害者の社会保障制度の課題を発見し、根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 <b>(レポート)</b></p>

4 学習活動と評価方法（学習指導案）（障害の表記は、使用教科書 社会福祉基礎基（実教出版）に準拠して記載）

科目名	社会福祉基礎	指導クラス	1年 福祉科	
使用教科書	社会福祉基礎（実教出版）			
単元名	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度			
本時の主題	第3章 障害者福祉 第4節 障害者福祉の理念			
指導観	<p>これまでの学習のなかで生徒たちは、介護が必要となった人に対して、日本国憲法における基本的人権の擁護や、自己決定に基づいた社会参加をしていくこと、そして、自己実現を図る支援の必要性を学んできた。</p> <p>本単元では、障害者の自立に向けた取り組みにおいて、ノーマライゼーションの理念が社会にどのように取り込まれているのかを資料から知り、その実現に向けて必要となる要素について理解させたい。その上で、どうすれば共生社会の具現化をできるのかを考えさせたい。</p>			
本時の目標	障害者が「ふつうの生活」を実現するために必要な要素について考える。【思考・判断・表現】			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価規準と評価方法	指導上の留意点
導入 5分	本時の目標の確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 本時の目標を確認する</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに目標を記入する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の授業内容を振り返る。</li> <li>本時の目標を確認させる。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害がある人が地域で生活するための要素とは</li> <li>ノーマライゼーションの理解</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 障害者が「ふつうの生活」を実現するために必要な要素について考える。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、障害者が地域で暮らすことが実現できている理由についてまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3 考えた内容を全体で発表する。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予想される生徒の反応 <ul style="list-style-type: none"> <li>家族の意思や本人の意思</li> <li>自立生活を支えるサービス</li> <li>大家さんの理解</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4 生徒が考えている自立と、障害者が考える自立の違いについて理解する。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予想される生徒の反応 <ul style="list-style-type: none"> <li>他者に依存することによって結果として自立につながる。</li> <li>障害者にとっての自立とは、身体的な自立よりも、主体性や尊厳が守られていることの方が重要である。</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5 ノーマライゼーションの8つの原理について理解する。</div>	<p>○評価規準 【思考・判断・表現】 障害者が「ふつうの生活」を実現するために必要な要素について考えている。</p> <p>【評価方法】 観察・ワークシート ・発表 &lt;Aの例&gt; ・障害者にとっての普通の生活とは、適切なサービスを利用したり、周囲の理解があったりすることで、その障害に合った形でノーマライゼーションが適用されていることが重要であると理解している。</p>	<p>&lt;Bを実現するための指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料内容から、自立生活の実現に際して、なくてはならない人や制度について確認させる。</li> </ul> <p>&lt;Cへの手だて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の内容を振り返り、個別に助言する。</li> </ul>
まとめ 5分	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーマライゼーションが共生社会を実現していく上で重要な要素の一つであることを理解する。</li> <li>本時の内容について自己評価をし、振り返る。</li> </ul>		

## 5 成果と課題（実践後の評価結果）

	学習活動における 具体的評価規準（B）	「十分満足できる」と 判断される状況（A）	「努力を要する」と 判断される状況（C）
評価	評価規準【思考・判断・表現】 ・障害者が「ふつうの生活」を実現するために必要な要素を考え理解している。	・障害者にとっての普通の生活とは、適切なサービスを利用したり、周囲の理解があったりすることで、その障害に合った形でノーマラ本人イゼーションが適用されていることを考えている。	・障害者が「ふつうの生活」を実現するために必要な要素を考えることができない。
生徒の状況	・障害者が「ふつうの生活」を実現するために、 <u>本人へのアプローチを中心に記述している。</u>	・障害者が「ふつうの生活」を実現するために、 <u>本人へのアプローチに加え、社会や周囲への働きかけと適切なサービス利用について記述している。</u>	・障害者が「ふつうの生活」を実現するために必要な要素を考えることができない。
記述例	・見守りをする人（ヘルパーや地域の人） ・重度訪問介護制度を活用する。 ・外出の付き添いサービス。 ・生活するための場所（住居） ・障害者が通うことのできる学校や職場の整備。	・障害のことを周りの人が理解して接する。偏見や特別扱いを無くしていく。 ・利用したいサービスや自分のやりたいことなどを自己選択できる環境。	・未記入

### 授業後の課題と改善

#### ◎課題

障害者にとっての「ふつうの生活」を考えるために、今回は重度知的障害を抱える人が、実際に地域で暮らしている様子を新聞記事から読み取り、その生活を実現するために必要な要素を考えさせた。生徒は、地域生活を送るうえで必要となる要素を記事から読み取り、そこから考えを発展させて必要な支援について考えることができた。その中で、必要となるサービスや、周囲の人の理解や協力が必要不可欠であることに気づくことはできていたが、「ふつうの生活」と自立した生活との結びつきについて考えさせるところが不十分であった。そのため、教科書にあるエド・ロバーツのコラムなども活用しながら、障害者にとっての自立を、どの様に捉えるのかを生徒に深く考えさせる場面が必要ではないかと考える。

#### ◎改善点

【授業進行について】生徒に発言させる際、机間指導で生徒が書いた内容を確認し、障害者にとっての「ふつうの生活」を実現していくために必要な要素を発表させ、周囲の理解も必要であることを全体に共有する。

【生徒の振り返りについて】生徒の理解度を把握するために、プリントの最後に書かせている感想部分を、目標に対してどれくらいの内容を理解できたか書き出させるようにする。

【本時の目標の達成に向けて】障害者の自立した生活には、周囲の理解や適切なサービス利用が必要となることを十分に理解させたい。そのために、エド・ロバーツのコラムを活用することで、自分の障害のある人との自立の捉え方の違いについて考える時間を設け、周りの助けを借りることの必要性について気付かせる。